

eBASE株式会社

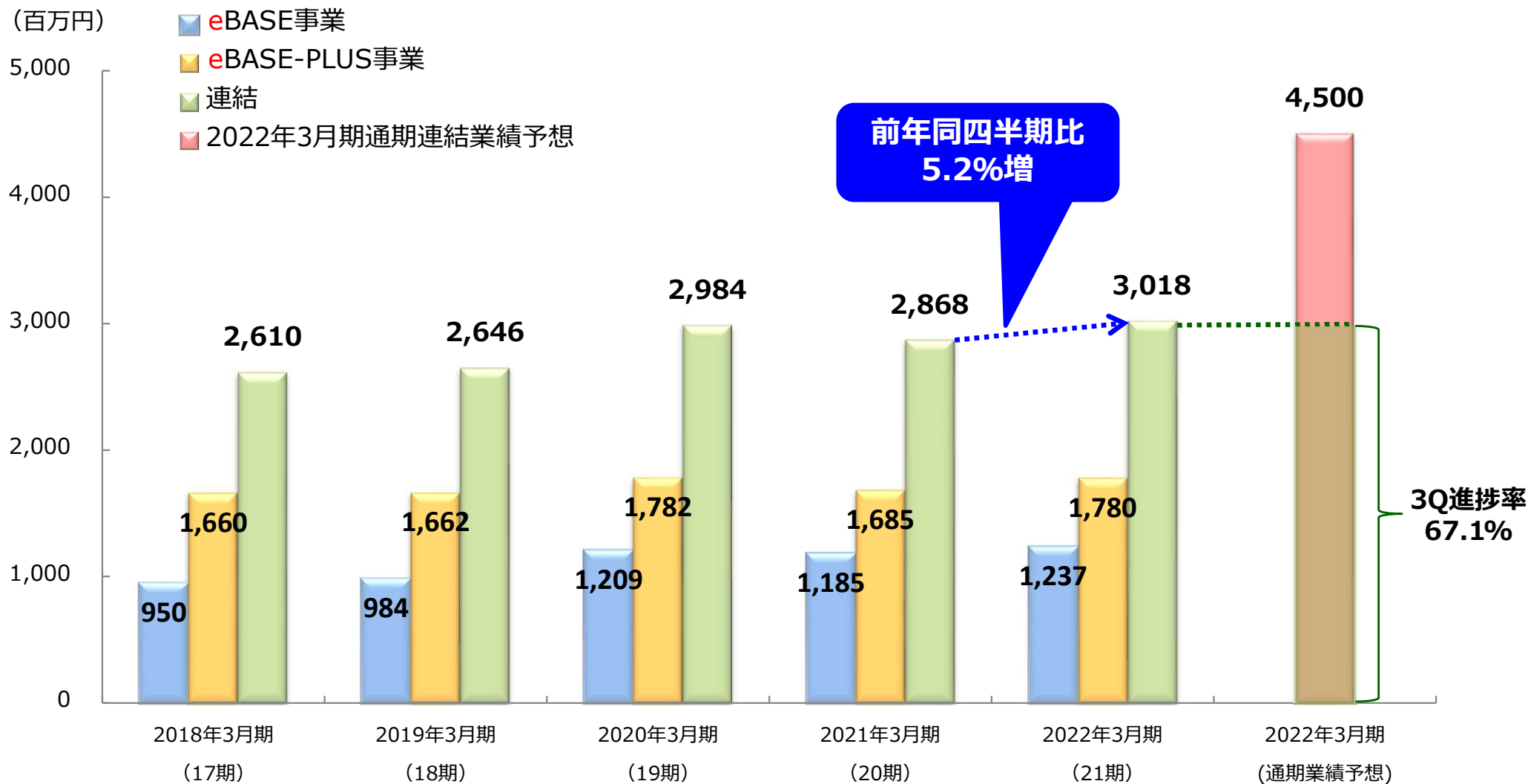
2022年3月期

第3四半期決算と事業報告

証券コード：3835

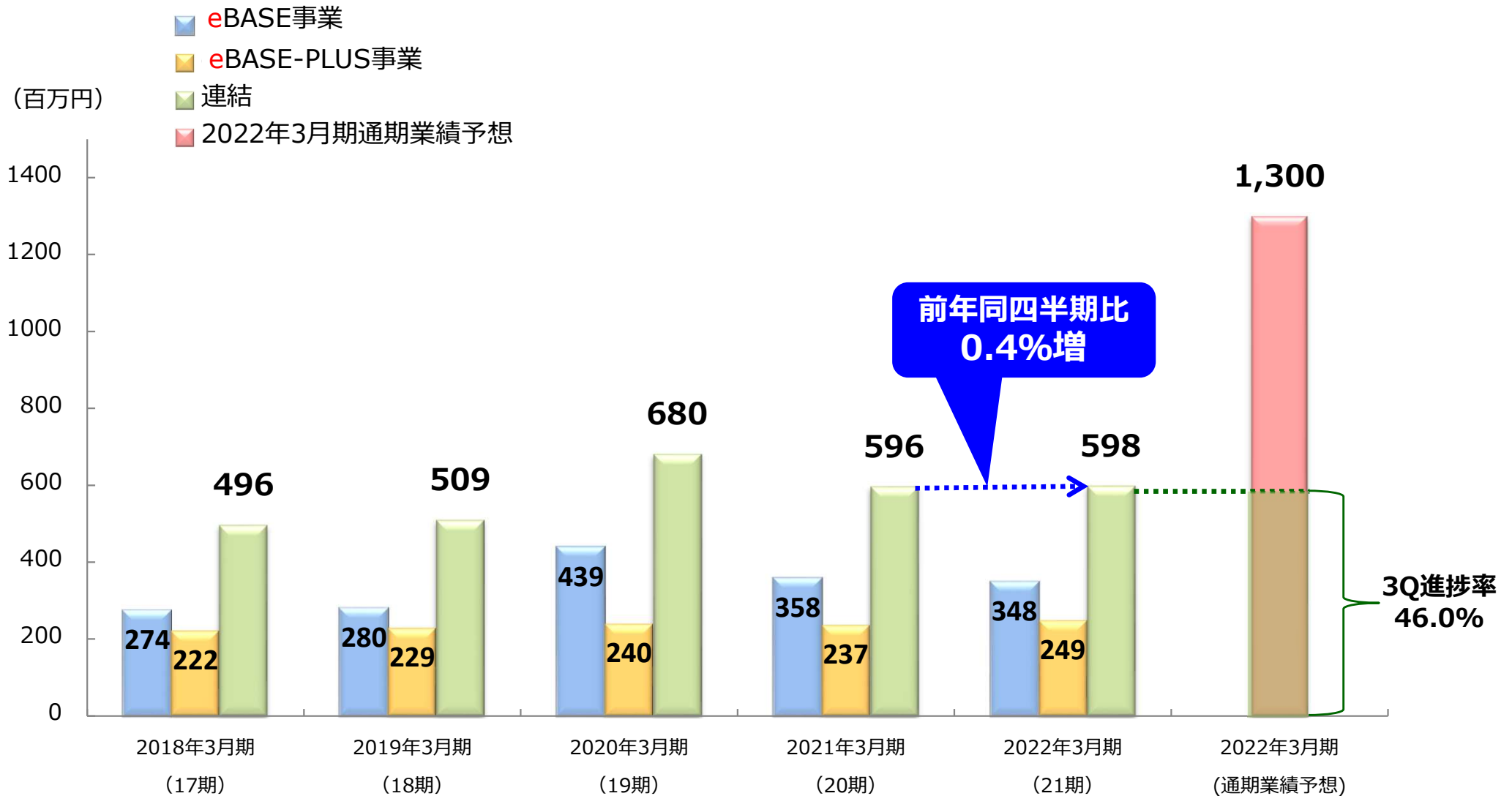
※第1四半期連結累計期間の期首より「収益認識会計基準」等を適用しております。第20期以前の数値の遡及修正はおこなっておりません。
なお、「収益認識会計基準」の詳細については、2022年1月31日付け「2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結) P7 (会計方針の変更)」をご確認ください。

第3四半期決算 連結売上高の推移



注1) セグメント間取引については、相殺消去しております。

第3四半期決算 連結経常利益の推移



注1) セグメント間取引については、相殺消去しております。

第3四半期決算 連結業績・連結貸借対照表の推移

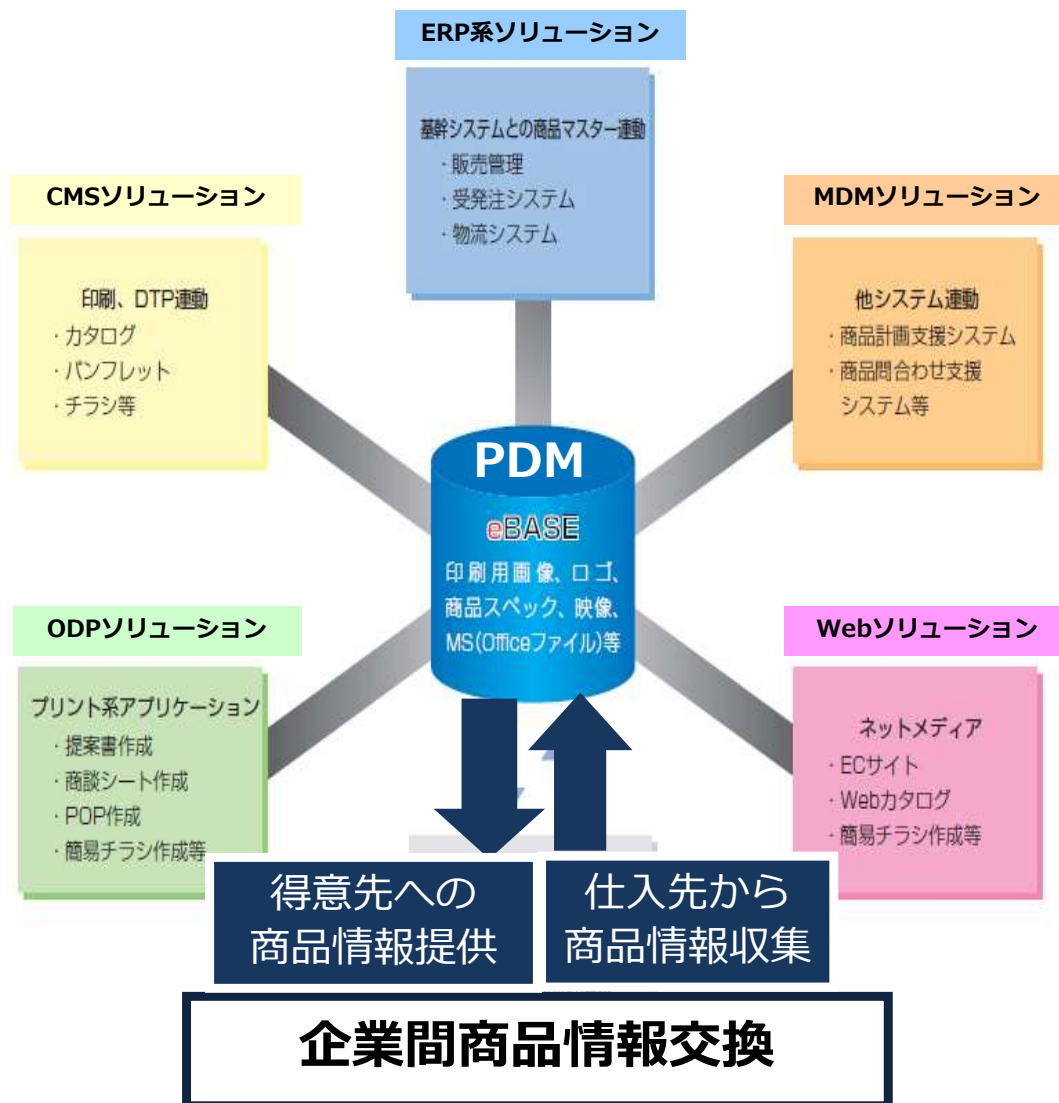
(単位：百万円)

	2018年3月期 (第17期)	2019年3月期 (第18期)	2020年3月期 (第19期)	2021年3月期 (第20期)	2022年3月期 (第21期)
売 上 高 (eBASE事業) (eBASE-PLUS事業) (セグメント間取引)	2,610 (950) (1,663) (△3)	2,646 (984) (1,670) (△8)	2,984 (1,209) (1,782) (△7)	2,868 (1,185) (1,685) (△2)	3,018 (1,237) (1,782) (△2)
営業利益	481	487	652	575	598
経常利益 (eBASE事業) (eBASE-PLUS事業) (セグメント間取引)	497 (274) (222) (-)	509 (280) (230) (△1)	680 (439) (240) (0)	596 (358) (237) (0)	598 (348) (249) (0)
親会社株主に帰属する 当期純利益	332	348	464	409	410

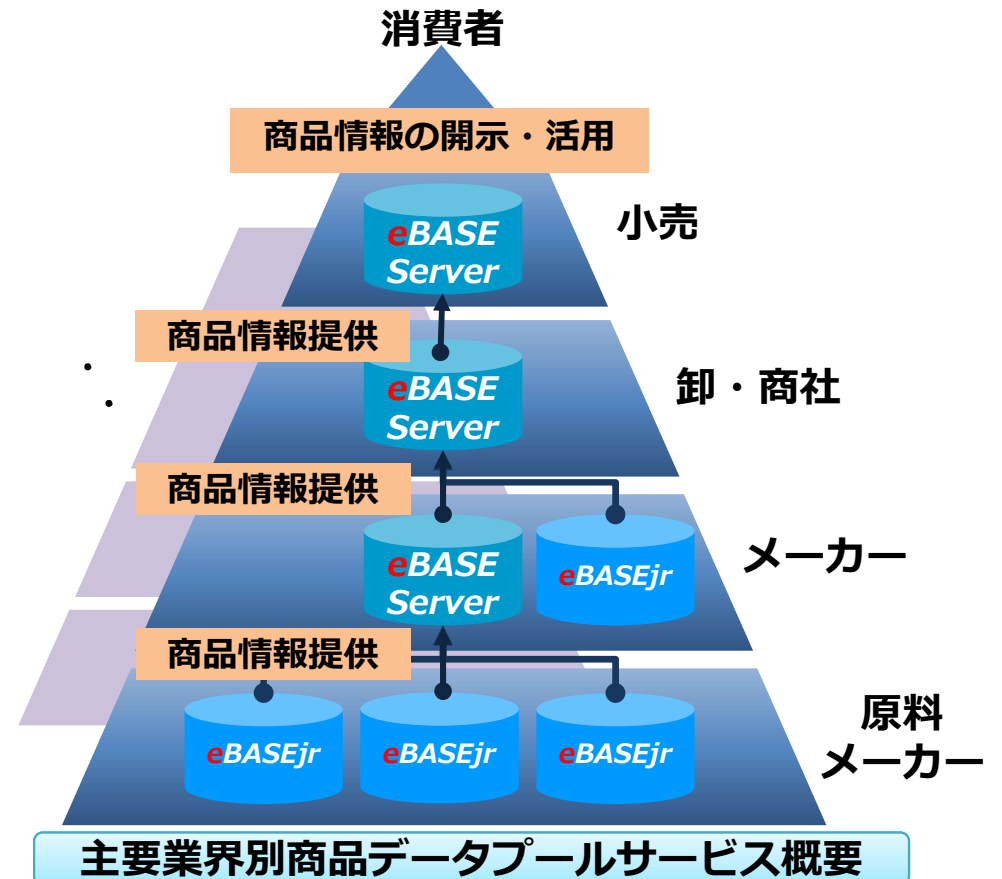
	前期 (2021年3月末)	当期 (2021年12月末)	前期末比	
流動資産	4,471	4,445	△25	現金及び預金+155、受取手形及び売掛金及び契約資産△228
固定資産	1,413	1,422	9	
(有形+無形資産)	(82)	(127)	(44)	建物+17、土地+18
(その他)	(1,330)	(1,295)	(△35)	投資有価証券△48
資産合計	5,884	5,868	△16	
流動負債	470	384	△85	未払法人税等△165
負債合計	470	385	△85	
株主資本合計	5,363	5,414	50	利益剰余金+47 収益認識会計基準等を適用したことによる累積的影響額△100 (配当金支払△262) (親会社株主に帰属する当期純利益の計上+410)
新株予約権	10	11	0	
純資産合計	5,414	5,482	68	
負債・純資産合計	5,884	5,868	△16	

eBASE事業概況

統合商品データベースeBASE概要

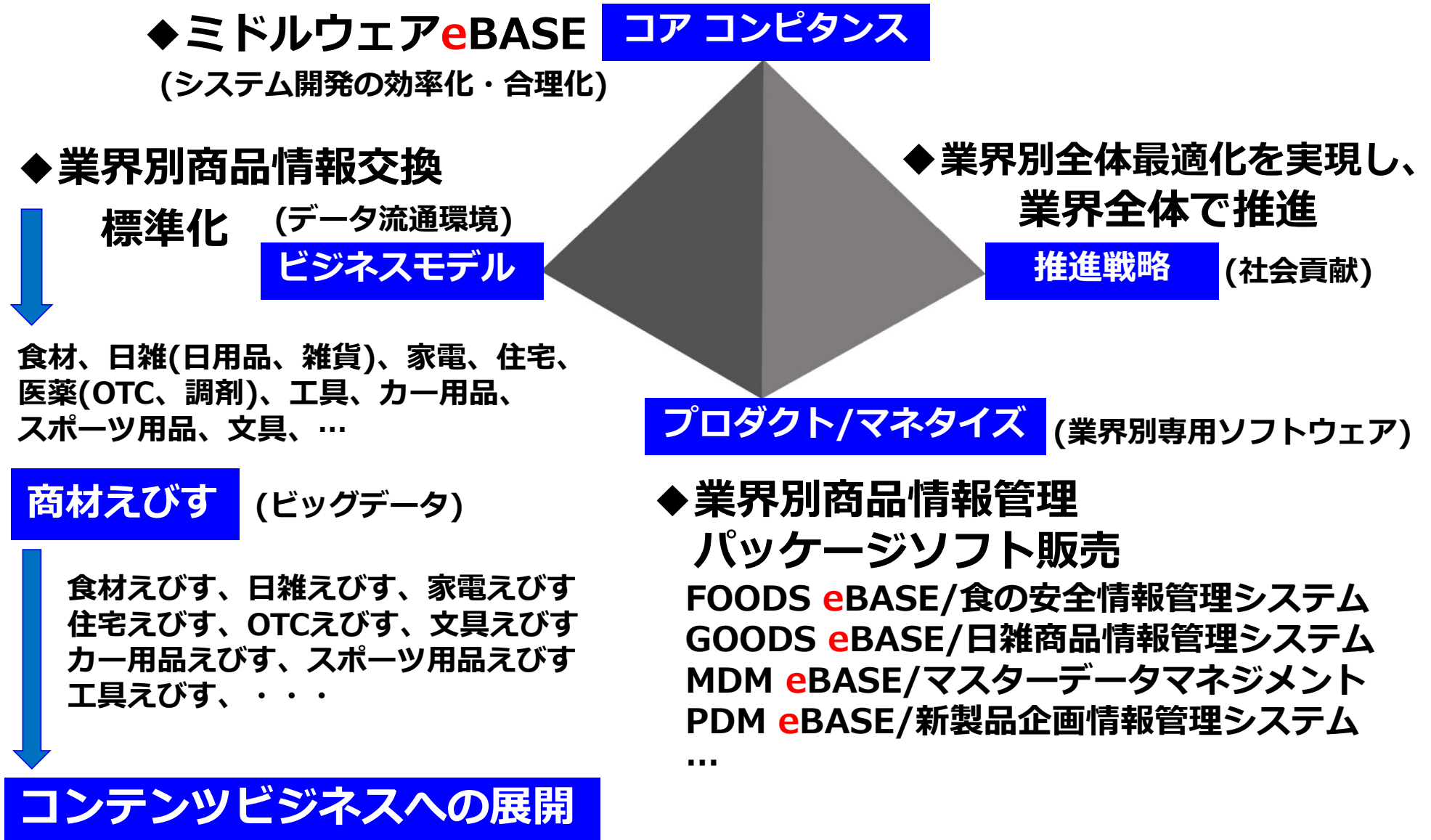


業界別の商品情報交換サービス概要



eBASE事業のビジネスシナリオの経緯と現状

「ミドルウェア eBASE」 + 「商品情報交換の全体最適化」



eBASE事業の中長期戦略

「商材えびす」 + 「特許」 + 「ミドルウェア eBASE」 で、更なるDX&OMO活用展開

※OMO=Online Merges with Offline

◆商材えびす
(ビッグデータ)

コア コンピタンス

◆BtoBtoCモデル

ビジネスモデル

◆小売企業(B)と消費者(C)の
商品データ利活用促進

推進戦略

(小売企業のDX・OMO・マーケティング)

小売(B)企業の
DX支援

販促(B)効果増

採用小売が
普及促進(BtoC)

消費者 (C)
ユーザー増

Personal Profileビジネスへ

プロダクト/マネタイズ (消費者ニーズ)

商品データ活用を生かした消費者向けアプリ群

e食なび、e食くいず、e食カタログ、e食ちらし
e食れしび、Drugstore Navi、e住なび、...

ミドルウェア eBASE/スマホアプリ

各種新サービスの基盤となる特許戦略

特許第6758734号

特許第6798741号

特許第6807105号

特許第6820016号

特許第6943382号

.....

住生活系の販促DX&OMO推進「e住ナビ」(BtoBtoC)

※OMO=Online Merges with Offline

My設備を設備DBから検索・登録



ハウスメーカーが、新築設備は、登録済！

我家の設備マニュアルが直ぐに探せる！

後で、購入した家電も、検索、追加登録できる！自動登録して欲しい！

購入レシート、保証書も撮影、管理できる。

購入予定の家電チェック商品情報、取説、パンフ

My設備一覧



商品情報



マニュアル



検索

My設備

設備DB

商品情報/マニュアル
+パンフレット

- ・住宅設備、建材
- ・家電製品、工具、etc

マニュアルを頁めくりで閲覧！
スマホでは少し小さいが..
PC,タブレットなら見易い！

マニュアル内文字検索が
できるので、探し易い！

商品スペックも簡単に
確認できる

家電えびず

住宅えびず

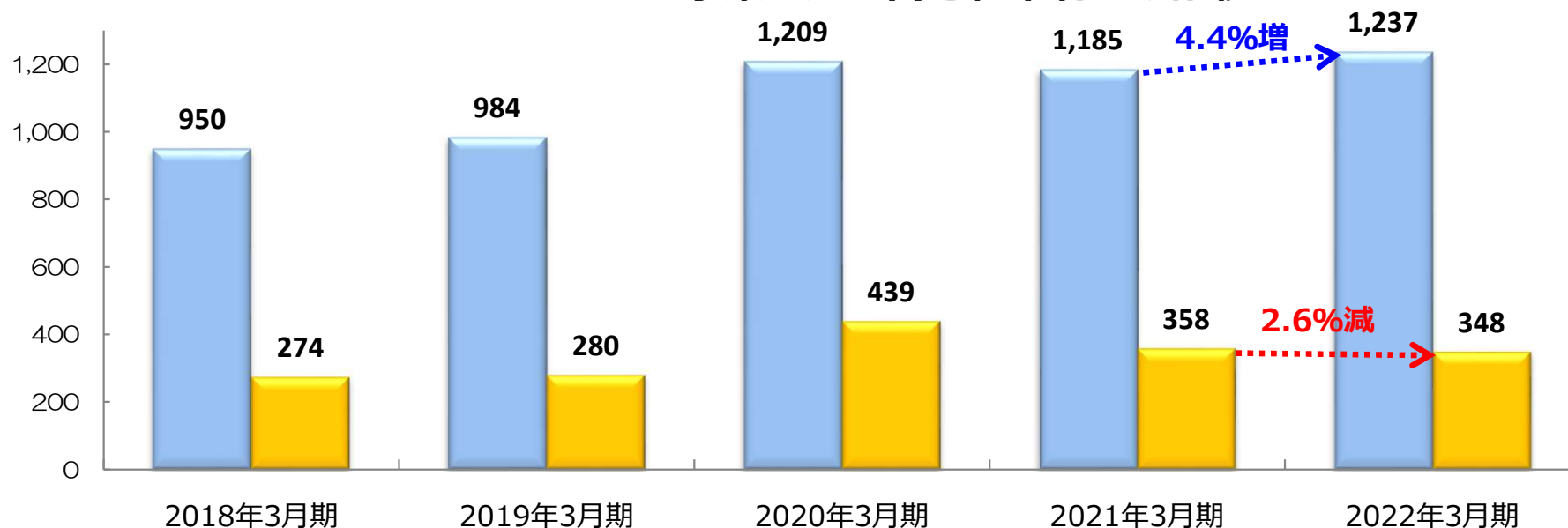
小売企業・ハウスメーカー
eBASE

第3四半期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

eBASE事業（パッケージソフトビジネス）

(百万円) ■ 売上高 ■ 経常利益

eBASE事業 売上高と経常利益の推移



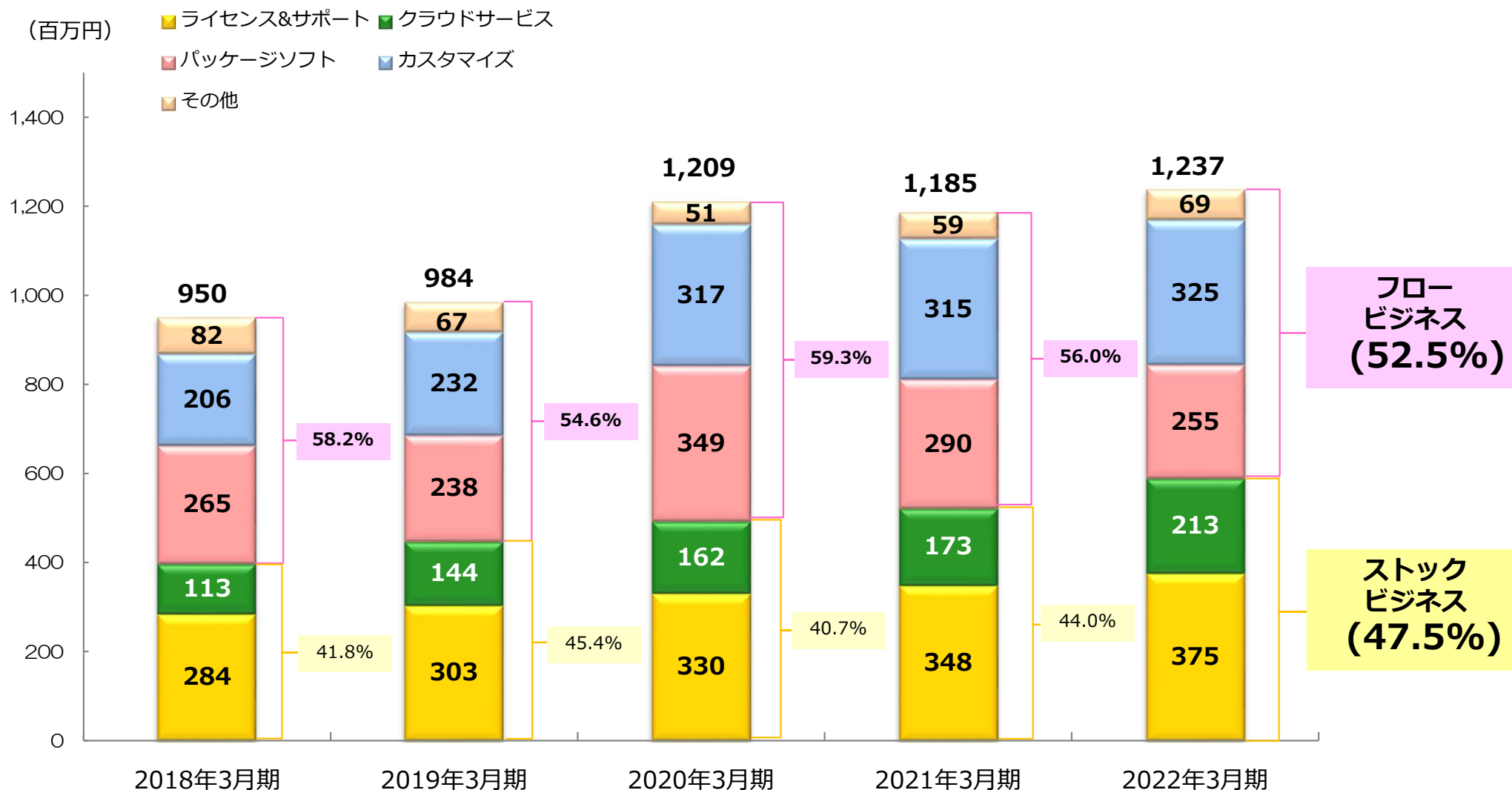
総括

注1) セグメント間取引については、相殺消去しておりません。

- ・ BtoBtoCモデルの食品小売向け販売促進支援サービス「**e**食カタログ」を小売ECサイト利用目的で受注
- ・ 「FOODS **e**BASE」の提案活動を継続展開しスーパー、コンビニエンスストア、卸（商社）の各業態から新規大型案件を受注
- ・ 停滞していたドラッグストア業界からの引き合いや、深耕営業の提案数は緩やかに回復傾向
- ・ 日雑業界では、一部の大型案件での想定外による高負荷による進捗遅延や商談の停滞も継続傾向
- ・ 住宅・家電業界を中心としたBtoBtoCモデルの第1弾として、住宅設備、家電設備等の住まいに関する製品情報と取扱説明書やパンフレット等の管理を実現する「**e**住なび(いーすまいなび)」を開発リリース
- ・ 大手ハウスメーカーでは、「住宅えびす」と「**e**住なび」を活用した施主向け情報開示の本番運用開始

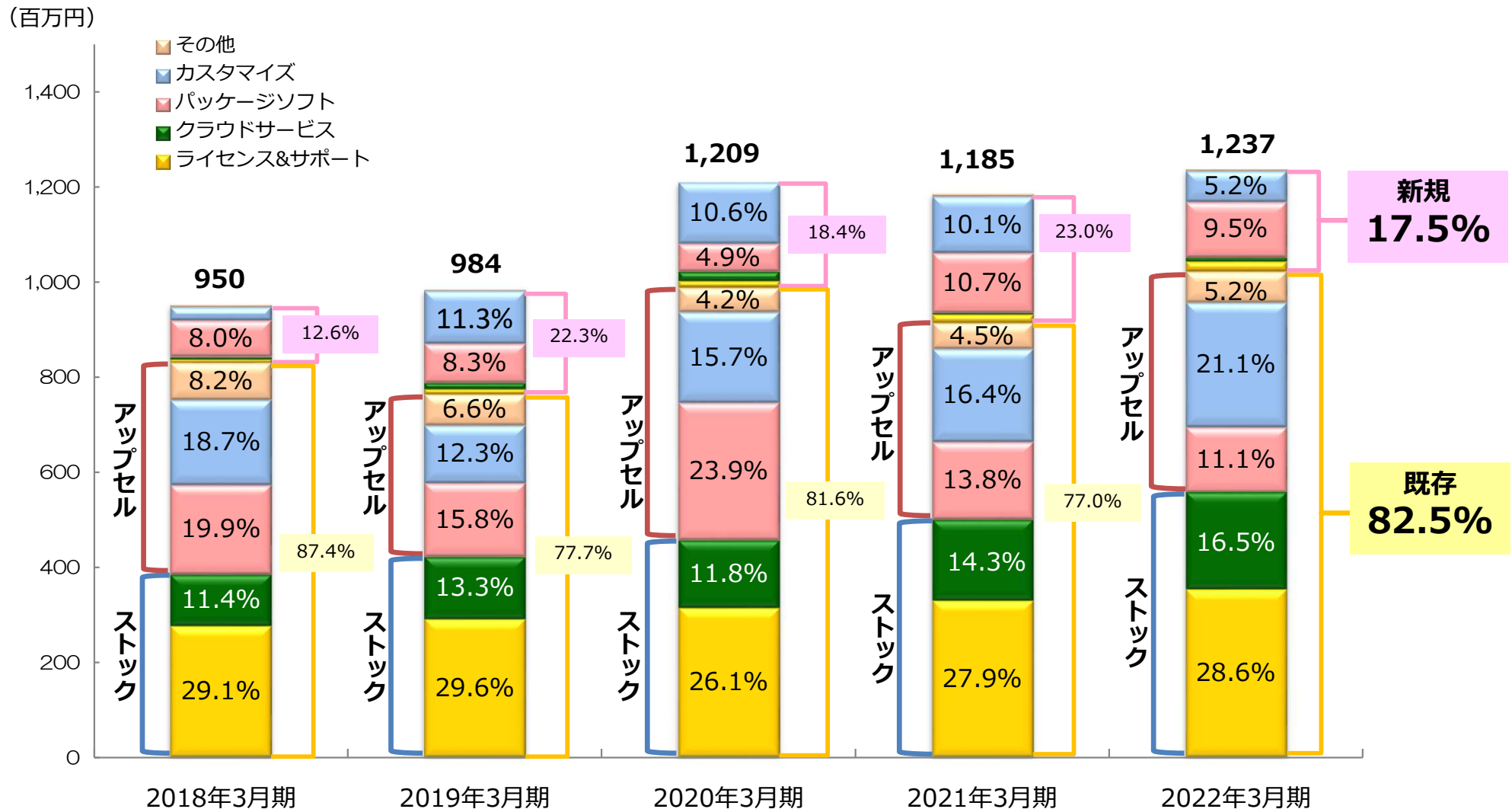
第3四半期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

種類別販売実績の推移



第3四半期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

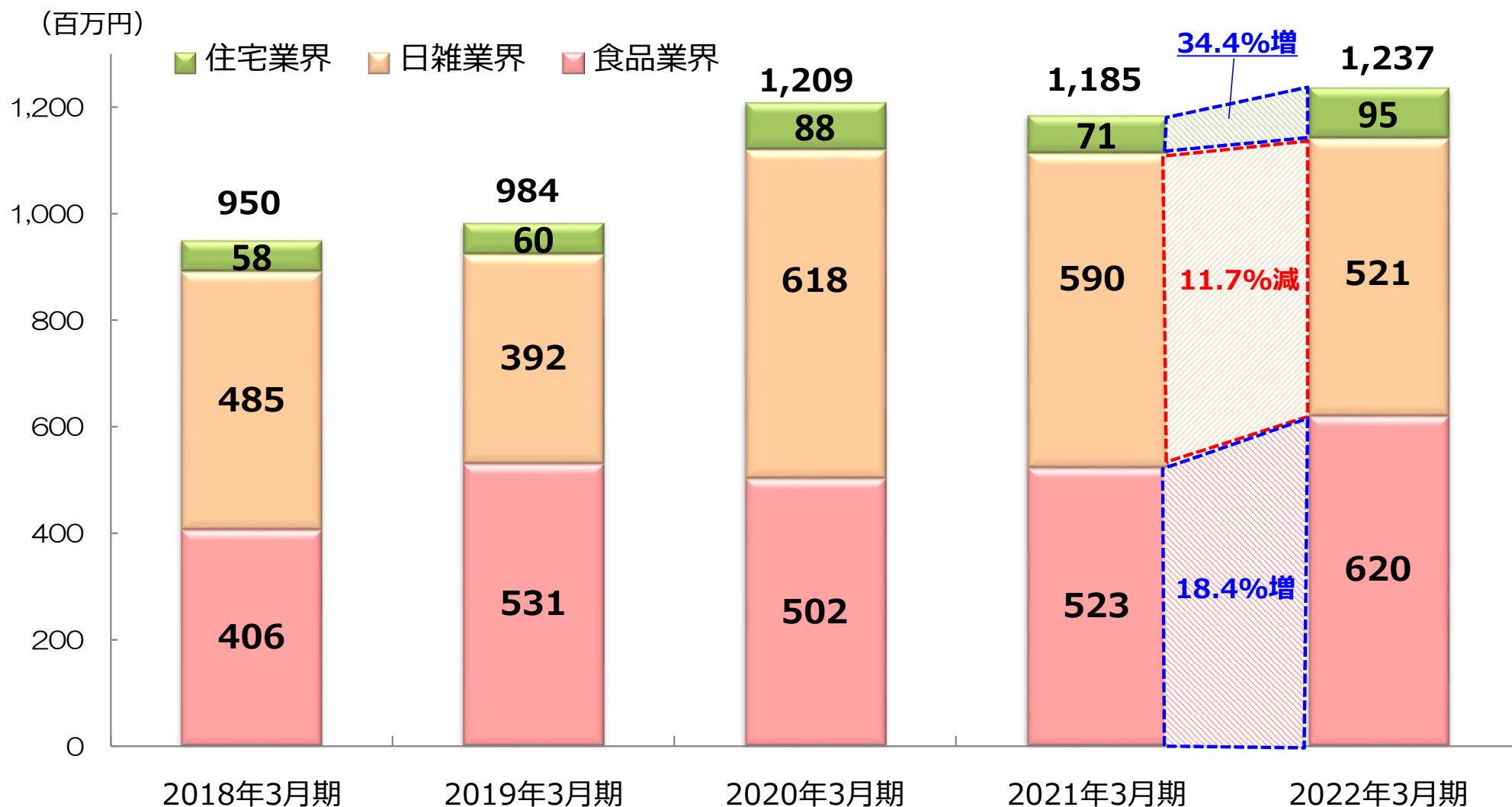
新規・既存別販売実績の推移



注1) 3%未満の数字は記載を省略しております。

第3四半期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

業界別売上実績の推移



注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表しております。

第3四半期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

食品業界 今期施策とその進捗

2022年3月期 施策

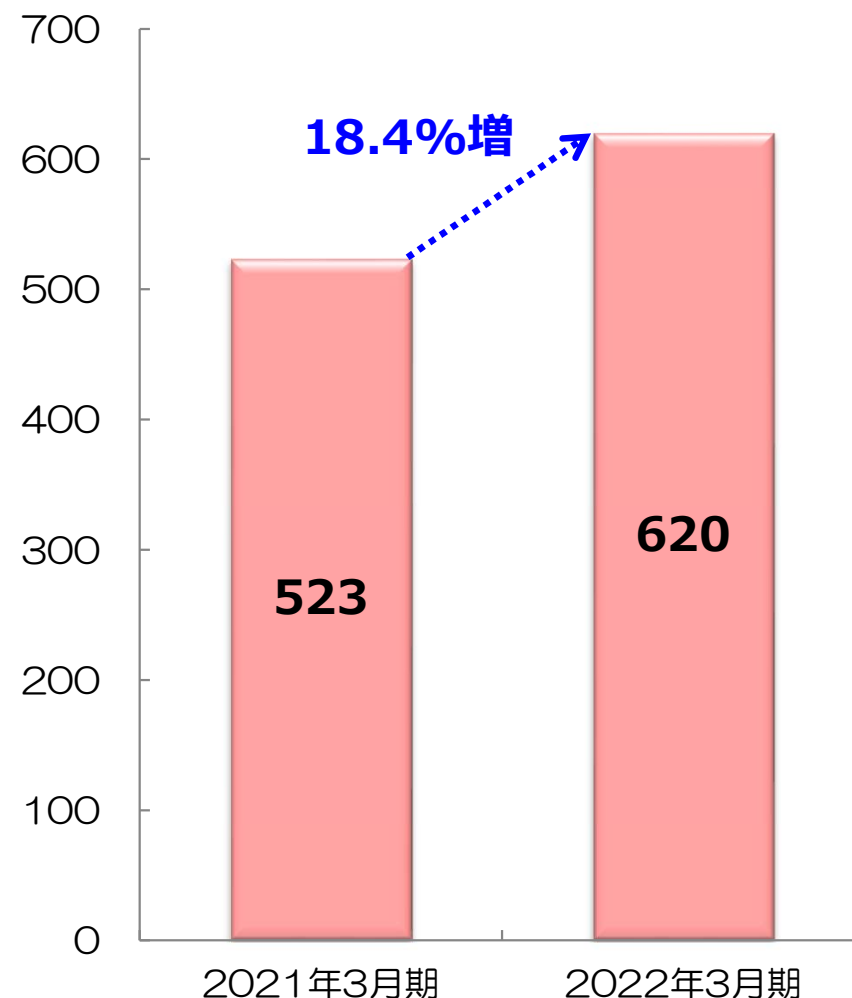
- ・ 現事業モデル「FOODSeBASE」の継続推進
- ・ 商品データプールサービス「食材えびす」のデファクト化の継続推進と販促強化
- ・ 消費者向けスマホアプリ(e食なび等)による「BtoBtoCモデル」への進出
- ・ 特許戦略に基づく各種新サービスの開発

その進捗

- ・ 売上実績(3Q): 620百万円
- ・ BtoBtoCモデルの食品小売向け販売促進支援サービス「e食カタログ」を小売ECサイト利用目的で受注
- ・ 「FOODSeBASE」の提案活動を継続展開しスーパー、コンビニエンスストア、卸(商社)の各業態から新規大型案件を受注
- ・ OMO環境の早期普及を目的に「e食暮らし」の拡販チャネルとして印刷会社を販売パートナーとするプロジェクトを開始
- ・ LINE/Microsoftと小売業界のDX支援を目的とした共同プロジェクトに参画
- ・ 売上高は前年同四半期比で増加

(百万円)

食品業界 売上実績
(前年同四半期比)



第3四半期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

日雑業界 今期施策とその進捗

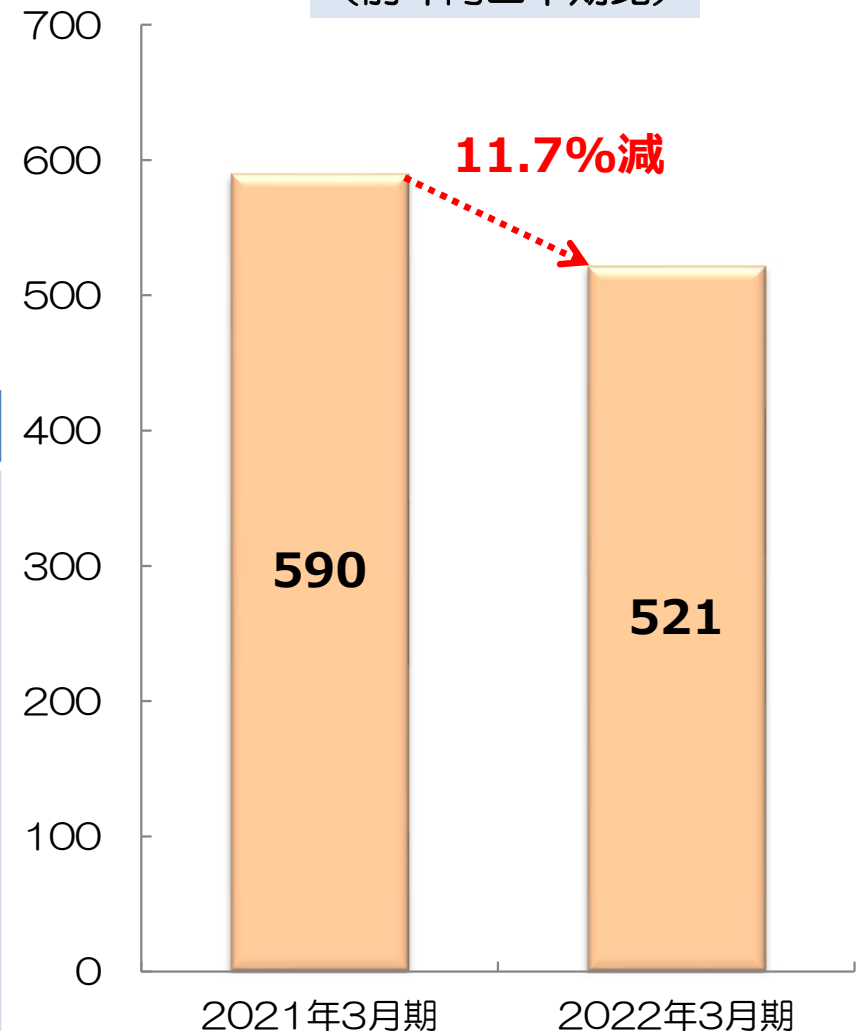
2022年3月期 施策

- ・日雑業界（ドラッグストア業界、ホームセンター業界、文具業界、スポーツ用品業界、カー用品業界、通販業界等）で商品情報交換環境の全体最適化を推進
- ・商品データプールサービス「日雑えびす」を中心に「商材えびす」の販促を推進
- ・顧客企業のカスタマイズ型統合商品DB受託開発の推進

その進捗

- ・売上実績（3Q）：521百万円
- ・大手工具商社において、基幹システム再構築に合わせた統合商品情報DB構築の案件を受注
- ・DIY関連の卸・メーカーの統合商品情報DB案件を受注
- ・「GOODS(FOODS)eBASE」、製品企画開発支援ソリューション「PDM eBASE」の拡販、ドラッグストアで内定
- ・コロナによる新規商談、開発設計の打ち合わせの影響は緩やかに回復傾向
- ・文具業界では、大型案件を受注していたものの想定外の大きな対応負荷が発生、日雑業界担当人員の新規や既存案件の営業と開発に支障が生じた
- ・売上高は前年同四半期比で減少

(百万円)



第3四半期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

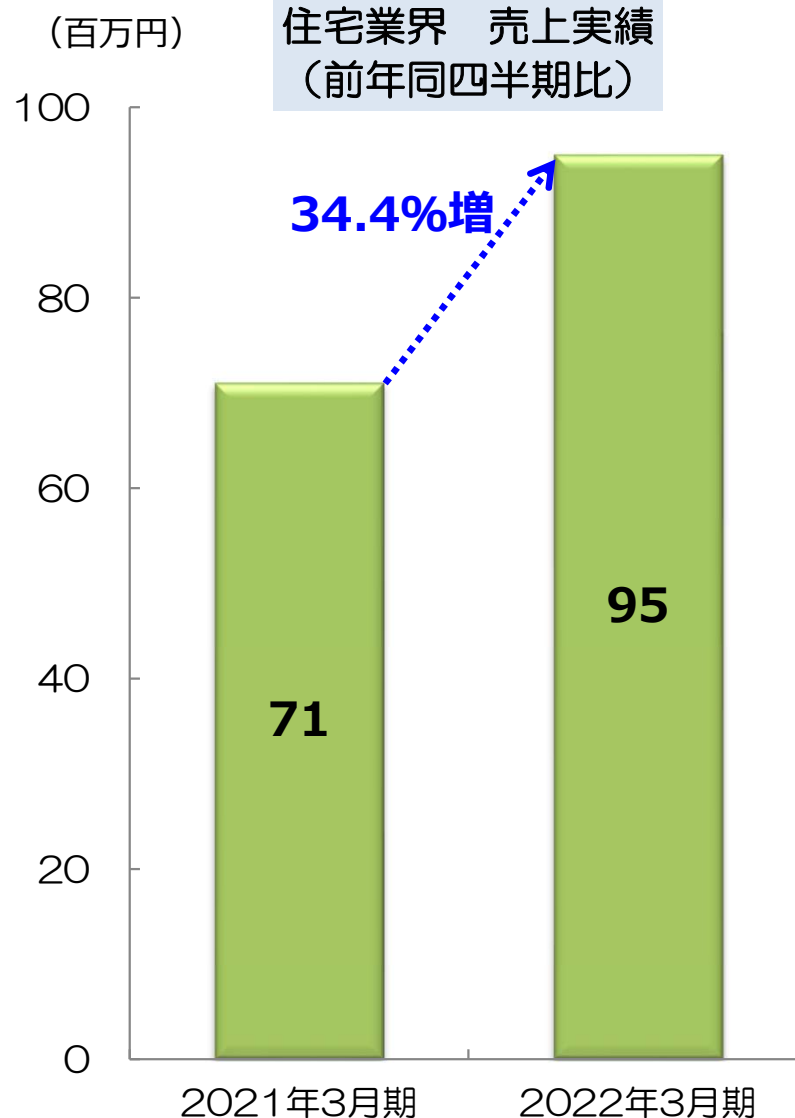
住宅業界 今期施策とその進捗

2022年3月期 施策

- ・商品データプールサービス「住宅えびす」のデファクト化推進
- ・顧客企業のカスタマイズ型統合商品DBの受託開発の推進

その進捗

- ・売上実績（3Q）：95百万円
- ・住宅・家電業界を中心としたBtoBtoCモデルの第1弾として住宅設備、家電設備等の住まいに関する製品情報と取扱説明書やパンフレット等の管理を実現する「**e**住なび(いーすまいなび)」を開発リリース
- ・大手ハウスメーカーでは、「住宅えびす」と「**e**住なび」を活用した施主向け情報開示の本番運用開始
- ・大手ハウスメーカーで活用されてきた「住宅えびす」を他の大手ハウスメーカーでも利用継続、及び、既存顧客の追加改修案件の増加
- ・大手ハウスメーカーによる「住宅えびす」と連携した統合商品情報管理システムの導入は堅調に推移
- ・コロナの影響によりハウスメーカー参加の会合延期・中止に伴い、導入事例紹介の機会損失、及び、継続検討中案件も打合せ回数の減少により進捗の遅延が長期化
- ・売上高は前年同四半期比で増加



eBASE-PLUS事業概況

eBASE社や顧客企業からの受託開発、受託オペレーション、受託サーバー保守等の
「IT開発アウトソーシングビジネス」

◆システムソリューション

①ソフトウェア開発

企画・分析・設計・構築・導入・運用管理・保守をサポート。

②インフラ構築

サーバー、クライアント環境構築業務をサポート。

◆サポートサービス

①統合運用管理

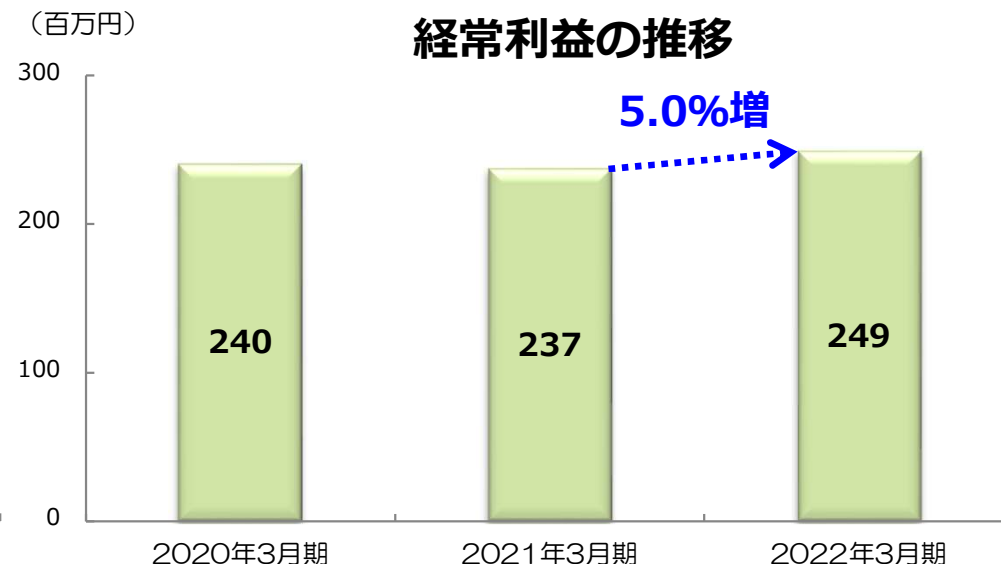
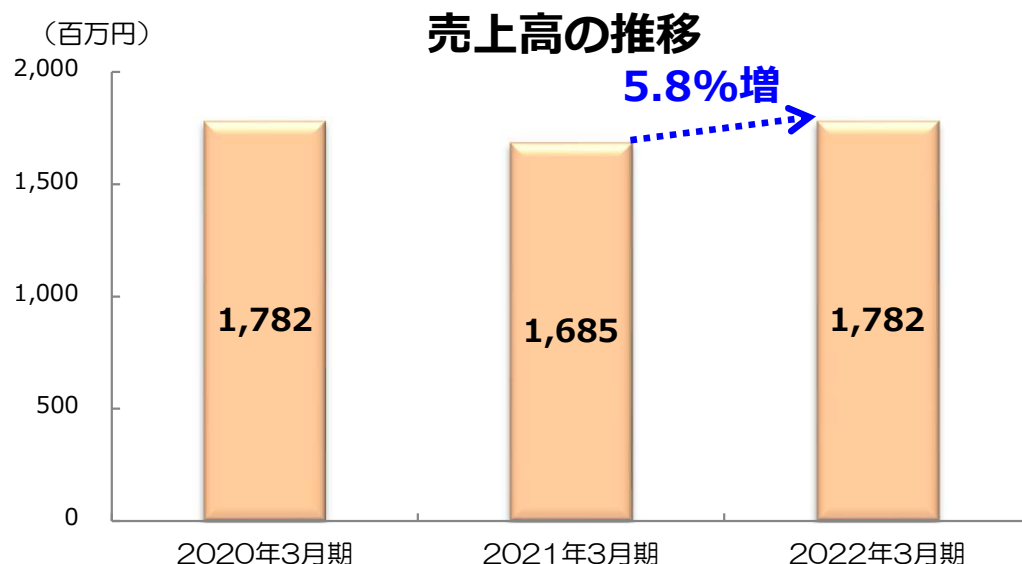
ITシステムの運用をサポート。

②ヘルプデスク

1次対応から技術スキルを要する2次対応までのヘルプデスク。

第3四半期決算セグメント毎の概況/ eBASE-PLUS 事業

eBASE-PLUS事業（IT開発アウトソーシングビジネス）



総括

注1) セグメント間取引については、相殺消去しておりません。

2022年3月期 施策

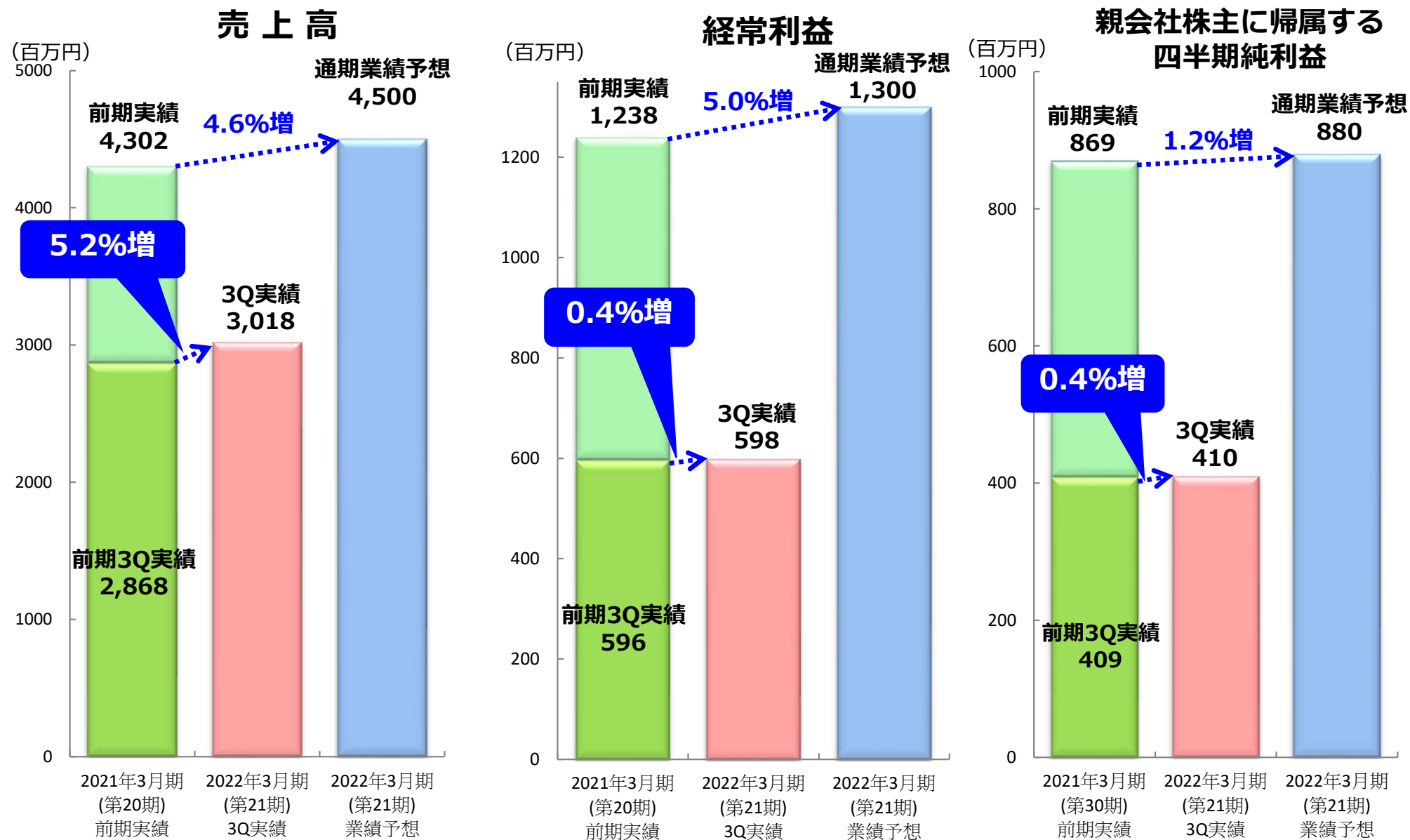
- ・ 既存IT開発アウトソーシングビジネスの維持。
- ・ 安定衰退モデルから低成長モデルへの転換策検討。
- ・ eBASEビジネスとの連携。
- ・ 人材の新規採用の継続及び育成。
- ・ 優良M&A案件の推進。

その進捗

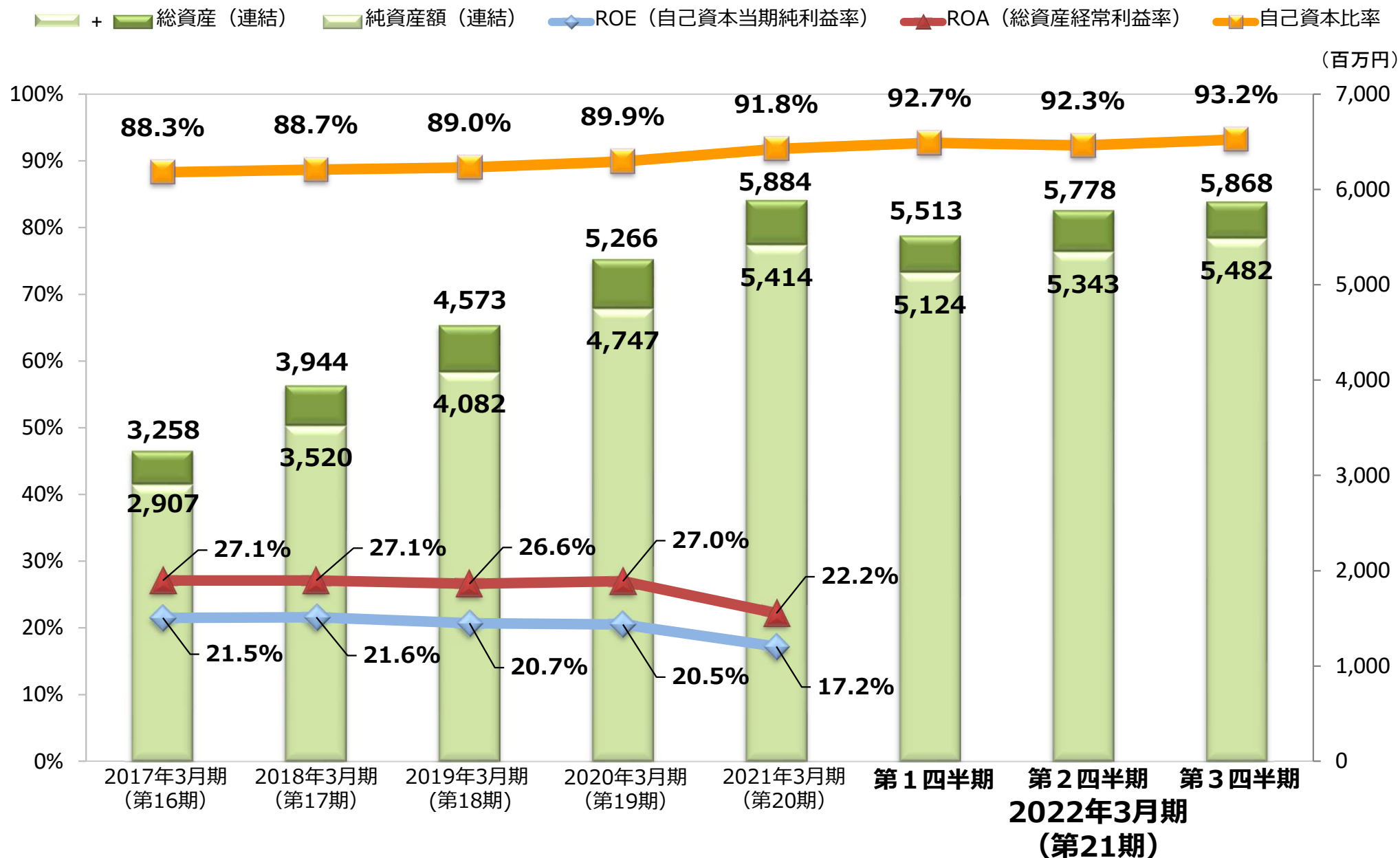
- ・ 売上実績（3Q）：1,782百万円(増収)
- ・ 利益実績（3Q）：249百万円(増益)
- ・ 顧客ニーズに沿った案件獲得に注力
- ・ 顧客との単価交渉を継続的に実施
- ・ 前年比での新卒人員採用増加、及び、運用オペレータからシステムエンジニアへの移籍に伴う教育コスト増加
- ・ 前期から継続する案件の開発遅れ等があり、一時的に稼働増加による売上増加

通期（2022年3月期）の連結業績予想

■ 2021年3月期(3Q実績) ■ 2021年3月期(通期実績) ■ 2022年3月期(3Q実績) ■ 2022年3月期(通期業績予想)



資本状況(ROE及びROA等)の推移



本資料お取り扱い上の注意点

本資料は決算説明及び当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

IRに関するお問合せ

管理部 06-6486-3929

management@ebase.co.jp